

# Refresh!!

No. 59

2021年1月31日発行

TAKE FREE

特集 新年のご挨拶



場所：福島県 北塩原村 タイトル：「朝霧に明ける」 撮影：歯科口腔外科 野地 秀彦医師

# 新年のご挨拶

病院長 近藤 匡



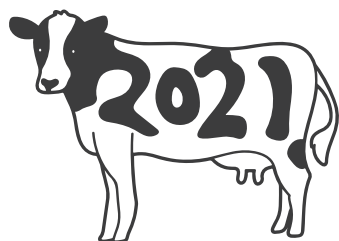
新年明けましておめでとうございます。当院に赴任してから3年が経とうとしています。当初より取り組んでいる安全な周産期医療の提供と、高齢者医療サービスの促進について今年も尽力する覚悟であります。特に小児科診療の再開については地域の皆様の要望にお答えするだけでなく、安心して出産・子育てのできる環境づくりに大きく寄与いたします。関係方面に働きかけて早期の実現を目指してまいります。

昨年11月以来、全国で新型コロナウイルス感染患者が増加しており、茨城県内でも安心できない状況が続いております。年末年始には職員に「帰省しない、帰省させない」ことをスローガンに同居の家族以外との接触を最小限にするように伝えてきたところではありますが、時節柄、地域の皆様

はいつもよりも交流の範囲が広がったことかと思えます。1月中旬以後の感染者数にどのような影響していくのかは注意深く監視していく必要があります。

当院では検温実施や発熱患者対応に努力しておりますが、新型コロナウイルス感染患者は「発症2日前がウイルス放出のピーク」であることが判明してきた今では「発熱してから対応しても遅い」ことが明らかです。普段からの予防措置と同時に不要不急の外出、人との接触を避ける以外には手立てがありません。

本年2月から医療従事者からワクチン接種が開始されると報道されていますが、従来のインフルエンザワクチンから類推すると、どれだけ発症を抑えられるのか、重症化を防ぐことができるのかは未知数です。「今年は忘年会できるといいね」と年賀状に書いてあったことと思いますが、これから先、季節行事が暦どおりにできる保証はありません。感染のピークの「谷間」に少人数でも行事ができればと今年は期待することになります。



## NEW COMER — 新任医師紹介



内科医師 島原立樹

1月より3か月間の内科医師として赴任して参りました。地域の皆様に貢献できよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



整形外科医師 伊藤弘樹

21年9月までお世話になりました伊藤弘樹です。県北地域の医療にお役立ちできる様頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



総合診療科医師 佐藤成

1月から3か月間お世話になります。県北地域の医療に貢献できるよう全力で取り組んでいきます。よろしく申し上げます。

# Dept 「医事課のはなし」

高萩協同病院の部門紹介

私たち医事課職員は様々な日次業務や月次業務を行っています。今回は日次業務として受付業務と会計業務、月次業務として保険請求業務を紹介します。

## 「受付業務」

受付業務は入院受付と外来受付があります。入院受付では入院手続きや、退院の会計、書類の受付を行います。入院患者さんが来院された際には、病棟へ連絡し患者さんのお迎えを依頼することもあります。外来受付では新患受付や患者さんが持参した紹介状をお預かりしています。再診の患者さんは自動再来受付機での受付をお願いしておりますが、そちらの操作が分からない方の受付対応も行っています。

## 「保険請求業務」

会計の際に患者さんから1～3割の窓口負担分をお預かりしておりますが、残りの7～9割分は診療報酬明細書（通称：レセプト）という形で審査機関に保険請求を行っています。診療報酬明細書は医科・歯科で分かれおり、また、審査機関も国保が国保連、社保が支払基金と別になっています。医事課職員は月初めに前月分の診療報酬明細書を作成し、オンラインにてそれぞれの審査機関に診療報酬明細書を送信し保険請求を行います。

医事課は患者さんと接する機会が多いので、ご不明な点や質問等がございましたら気軽にお声かけください。

## 「会計業務」

会計業務は入院会計と外来会計があります。入院会計は高額となることが多い為、限度額の説明や会計の問い合わせについて対応しています。また、院内にある患者サポートセンターと連携して患者さんの対応も行っています。外来会計は中央ロビーにある外来会計窓口で全診療科の計算を行う中央会計制をとっており、外来会計に関する問い合わせにも対応しています。



## 高萩協同病院の施設紹介

当院の外来は看護師21名、ナースングアシスタント11名、歯科衛生士2名、歯科助手1名で業務を行っています。診療科は、内科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻科、皮膚科、歯科口腔外科の9科で構成されています。近隣病院の中でも幅広い診療科で内科、外科問わず様々な疾患に対応できるのが大きな特色です。

外来は診察を受ける患者さんはもちろんのこと、入院、手術になる患者さんが最初に関わる部署でもあります。患者さんが安心して診察を受けられるようにサポートするのが私たちの仕事です。主に診察室内での診察介助や検査についての説明で患者さんに関わることが多いかと思えます。患者さんの側に立ったわかりやすい説明、声掛けしやすい笑顔や雰囲気づくりを常日頃心掛けております。



## 「外来のはなし」 Facilities

# Takahagi Fresh News.



左から株式会社エム・ディー精密 立原社長、当院 河村副院長、筑波銀行磯原支店 小林支店長

**医療支援物資の寄付を  
頂きました**

株式会社エム・ディー精密様から、新型コロナウイルス感染症拡大防止に役立ててほしいとサージカルマスク80箱を寄付していただきました。これは、筑波銀行様が引受先となる、地域医療機関を支援するための「地域の医療サポート債」を活用したものになります。貴重な品にもかかわらず当院へご配慮いただきましたことに、病院職員一同、心より感謝申し上げます。ご寄附いただきましたマスクにつきましては、大切に使用させていただきます。

## Dept 「患者サポートセンターのはなし」

高萩協同病院の部門紹介

### ～地域医療連携室の役割～

地域の医療機関や様々な保健・福祉サービス機関との連携の窓口として、患者さんに切れ目のない医療・看護・介護サービスが提供できるよう支援・調整する役割を担っています。当院では2006年10月より地域医療連携室を開設し15年目を迎えます。2017年4月からは入退院支援室・医療相談室と統合、患者サポートセンターに再編し、関係機関との連携をより円滑に行えるよう、努めております。

#### 業務内容

- ・他医療機関・施設等からの紹介患者さんの診療・検査・予約（CT・MRI等）、入院調整
- ・他医療機関への紹介（診療予約、転院調整）
- ・情報提供依頼
- ・紹介元医療機関への経過および結果報告の管理
- ・近隣医療機関・施設との連絡調整等
- ・その他広報活動

#### <連携の例>

- ①患者さんがクリニックへ受診
- ②精査が必要と判断され、当院へ紹介（地域医療連携室を通して受診調整）
- ③当院を受診、診察（必要に応じて検査・入院・手術。他医療機関等での対応が必要な際には地域医療連携室を通して受診や転院の相談）
- ④経過良好となり紹介元のクリニックへ逆紹介



患者さん



近隣クリニック



高萩協同病院



他医療機関





**Facebook やってます**





フォロー&いいね！  
お待ちしております♪



**県北医療センター高萩協同病院**

図のように、患者さんへスムーズに医療を提供できるよう、地域医療連携室ではそのお手伝いをさせていただいております。

1 都 3 県の緊急事態宣言、茨城県でも COVID-19 の感染拡大により、当院におきましても本日より、入院予定患者さんと緊急入院患者さんへ PCR 検査を実施することとなりました。妊婦さんに関しては、引き続き PCR 検査を継続いたします。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



発行所：県北医療センター高萩協同病院

発行人：近藤 匡

編集：広報ふれあい委員会

編集協力：協同メディカルサービス株式会社

〒318-0004 高萩市大字上手綱字上ヶ穂町 1006 番-9

Tel：0293-23-1122 takahagi-kyodo-hp.jp/